

富山県観光振興戦略プランの構成

1 はじめに

(1) プラン策定の趣旨

地方を取り巻く環境が大きく変化中、本県においても、県民、事業者・民間団体、市町村、県が一体となって本県観光の目指すべき姿を実現するため、観光振興施策の総合的かつ戦略的な推進を図る

(2) プランの位置付け

「元気とやま観光振興条例」第7条に基づき、観光の振興を総合的かつ戦略的に推進するための基本計画

(3) 計画期間

平成22年度～26年度
(新幹線開業をにらんで)

3 富山県観光の目指すべき方向と目標

(1) 基本方針「県民あがての観光県づくりの推進に向けて」

連携・協力・一体となった取組みにより
地域経済への幅広い波及効果・交流人口の拡大による地域活性化

県民	⇒ 地域の魅力再発見・発信・継承
事業者・民間団体	⇒ 主体的な取組みの推進
行政(県・市町村)	⇒ 県民、事業者・民間団体の活動支援

(2) 目標

- ・観光客入込数
- ・宿泊者数
- ・外国人旅行者数、宿泊者数
- ・観光ボランティア数
- ・コンベンション参加者数
- ・観光HPへのアクセス件数
- ・満足度(全国順位)
- ・経済波及効果

2 本県観光の現状と課題

(1) 観光を取り巻く環境

- 旅行形態の変化(個人旅行9割、団体旅行1割)
- 多様化・高度化する観光ニーズ
- 高度情報化による旅行手配媒体等の変化
- 観光振興における地域間競争の激化
- 観光ルートの広域化に伴うエリア内競争の激化
- 外国人観光客の増加と個人化 等

(2) 富山県観光の現状

- 50歳以上の旅行者の割合が高く、若年層の割合が低い
- リピーター客が70%以上と高く、団体旅行割合が2割と多い
- 自然、文化遺産、食などの資源がコンパクトに集積
- 美術館など隠れた資源が豊富で、認知度は低くとも、知れば行きたくなる資源が多くある
- スポットとしては知名度が高いものもあるが、県としては大都市圏等でのイメージ浸透が不十分
- 県内を周遊・滞在できる体制が不十分
- 交通アクセスが良くない
- 外国人宿泊者数は全国を上回る大幅な増加
- 欧米での認知度が低い

(3) 富山県観光の課題

- 新たな観光資源の発掘・魅力づくりと既存の観光資源のブラッシュアップと活用していく仕組みづくり
- 多様化するニーズに応えた観光施設、旅行商品、サービスの提供、土産などの開発促進
- 消費者の視点に立ち、広域連携した情報発信・誘客活動
- ターゲットや時期を絞った戦略的な観光PR
- 個人化・ニーズの多様化に対応した受入体制の整備と周遊・滞在できる体制づくり
- 観光に携わる人づくりや意欲的な取組みへの支援と観光振興に取り組む意識醸成、体制づくり
- 欧米・東南アジア等新規市場の開拓
- 外国人観光客への戦略的な情報発信、受入体制整備

観光県づくりの推進

4 施策の方向と重点的に取り組むべき事項

1 富山らしい魅力創出

- ① 地域資源の発掘と観光資源のブラッシュアップ
- ② 食のブランド化と高付加価値化
- ③ 個人観光客の多様なニーズに合わせた観光商品の開発

- ④ 県内周遊の促進、近隣県を含む広域ルートの開発
- ⑤ 冬季の魅力創出と通年観光

2 戦略的なPR

- ① 大都市圏等に向けた戦略的な情報発信
- ② 多様な個人客に向けた的確な情報発信
- ③ メディアの活用・連携
- ④ 官民一体、近隣県と連携したPRの推進



3 官民一体、県民こぞってのおもてなし環境の整備

- ① 地域の観光を支える人づくり
- ② 観光産業及び周辺産業の振興・連携
- ③ 県民の意識醸成

- ④ 受入環境の整備
- ⑤ 二次交通の確保・利便性向上

4 国際観光の推進

- ① 東アジアからのリピーター確保、通年の魅力発信
- ② 新規市場に向けた効果的な情報発信
- ③ 個人対応の情報発信と受入体制の整備



5 コンベンションの誘致促進

- ① コンベンション開催環境の周知と営業活動の強化
- ② コンベンション開催に向けた支援の充実
- ③ アフターコンベンション等の充実



5 プランの推進体制等

「元気とやま観光振興条例」第8条を踏まえ、県民、事業者・民間団体、市町村、県の役割分担を明らかにするとともに、それぞれが相互に連携・協力しつつ、観光振興に向けて積極的に取り組む。

(1) プランの推進体制

- 県民は、ふるさとの魅力を再発見し、ふるさとの良さを発信する。地域団体・観光ボランティアの皆様の積極的な取り組みを期待する。
- 事業者は、サービスの向上を心掛けつつ、顧客の満足度の向上に努める。
- 県観光連盟の活動強化及び市町村観光協会・観光事業者との連携・協力体制を強化する。
- 県や市町村は、事業者等と連携しつつ、積極的な観光開発を推進する。

(2) 広域観光の推進

(3) 観光統計の分析・施策への活用

(4) フォローアップ

富山県観光振興戦略プランに掲げる目標値

指標項目							H26の目標値 (対H21伸び率)	算出根拠
		H17	H18	H19	H20	H21		
観光客入込数	延べ数	25,955千人 (▲4.1%)	26,811千人 (3.3%)	28,048千人 (4.6%)	29,229千人 (4.2%)	29,393千人 (0.6%)速報値	32,000千人 (9%)	<p>景気低迷の長期化、若者の旅行離れ等を背景に、国内の宿泊旅行者数はH2年以降約3.1億人で横ばい状態で推移していることからすると、全国の観光入込客数も横ばい状態と推測される。一方、本県への入込客数はH17から約4%増で推移しており、全国的に見ても比較的好調に推移していると考えられる。H21においても、わずかながらプラスとなっていることから、H22はH21と同数を見込む。</p> <p>H23以降は、本プランで盛り込んだ魅力創出の施策や戦略的なPRなど、本県の観光地の魅力アップを図る取組みを推進することで、毎年の伸び率としては、近年の伸びと人口減少等を考慮して2%程度を見込む。</p>
	実数推計	—	16,189千人	16,921千人 (4.5%)	17,484千人 (3.3%)	17,519千人 (1.4%)速報値	19,000千人 (8%)	
宿泊者数		—	—	2,570千人	2,758千人 (7.3%)	2,594千人 (▲5.9%)	3,000千人 (16%)	<p>2泊3日の滞在型観光を促進する観光圏の取組みや、グリーンツーリズムなど宿泊型体験事業などの取組みを通じて、観光入込客数(実数)のうち宿泊者が占める割合(⑱15.2%、⑳15.8%、㉑14.8%)を高めた16%を見込む。</p>
外国人旅行者数		81,753人 (57.8%)	105,260人 (28.8%)	134,977人 (28.2%)	146,959人 (8.8%)	76,431人 (▲48.0%)	185,000人 (142%)	<p>「ビジット・とやま・キャンペーン」を展開し、重点市場として取り組んできた東アジアでは、台湾・韓国において切れ目のない観光PRによりリピーターの確保や通年での誘客を図る。また、巨大市場と期待される中国では、近隣県や大都市圏を結ぶ広域的なモデルコースを提案して誘客拡大に取り組む。さらに、東南アジア・欧米豪・ロシアなど新規市場からの誘客拡大を図る。</p> <p>外国人旅行者数では、H22はH21の減少幅(70千人)の半分程度の回復を見込む。それ以降は国の伸び率(H23からH25は14.5%、H26は10.5%)で試算。また、外国人宿泊者数では、H22はH21の減少幅(52千人)の半分程度の回復を見込む。それ以降は国の伸び率を上回る率(H23からH25は15.0%、H26は11.0%)で試算。</p>
外国人宿泊者数		70,390人 (44.9%)	80,715人 (14.7%)	105,874人 (31.2%)	114,314人 (8.0%)	62,441人 (▲45.4%)	150,000人 (140%)	
観光ボランティア数		—	810人	864人	832人	789人	900人 (14%)	おもてなし研修や観光バリューアップ事業等の取組みにより、毎年20名程度の増加を見込む。
コンベンション参加者数		35,123人 (▲5.1%)	54,465人 (55.1%)	60,470人 (11.0%)	68,682人 (13.6%)	70,000人 (1.9%)	85,000人 (21%)	コンベンションの開催環境の整備やアフターコンベンションの充実など、県外からの誘致に積極的に取り組み、参加者を毎年3千人づつ増やす。
うち県外者		19,085人 (▲23.4%)	36,701人 (92.3%)	26,480人 (▲27.8%)	31,111人 (17.5%)	34,000人 (9.3%)	41,000人 (21%)	H21の参加者に占める県外者比率と同程度を見込む。
観光ホームページへのアクセス件数		—	—	—	—	464万 ページビュー	700万 ページビュー (51%)	HPの魅力アップや県の知名度アップとともに観光情報の積極的な発信に取り組むほか、市町村や観光事業者など関係機関と連携した取組みにより、5割増程度を見込む。
満足度 (全国順位)		—	77.5% (25位)	75.9% (30位)	76.2% (29位)	毎年翌秋 に発表	80%以上 (20位以上)	おもてなし研修等を通じて意識啓発を図るとともに、まちづくりなどハード面での受入れ環境の整備に努め、観光客の満足度の向上に努めて、率及びランクともにアップさせる。 【データ出所:じゃらん宿泊旅行調査】
経済波及効果	生産誘発効果				2,902億円	2,907億円	3,153億円 (8%)	観光入込客数(実数推計)の増加案に基づいて、富山県産業連関表により算出。
	付加価値誘発額				1,785億円	1,788億円	2,093億円 (17%)	